

第22回「芥川作曲賞」

新井^{けんぼ}健歩氏の作品

「^{せめ}闘ぎ合う先に ～オーケストラのための～」に決定

公益財団法人 サントリー芸術財団は、8月26日(日)午後3時から東京・サントリーホールで演奏会による公開選考を行った結果、第22回「芥川作曲賞」を新井健歩氏作曲の「^{せめ}闘ぎ合う先に ～オーケストラのための～」に決定、賞状と賞金50万円を贈呈しました。

「芥川作曲賞」は、戦後のわが国音楽界の発展に多大の貢献をされた故芥川也寸志氏の功績を記念して、サントリー音楽財団(現・公益財団法人 サントリー芸術財団)が日本作曲家協議会の支援を得て1990年4月に創設したものです。故人の深い音楽愛、明晰な音楽観と音楽の振興によせられた熱情を追慕して、わが国の新進作曲家のもっとも清新にして将来性に富む作品を対象に、演奏会形式により公開選考を行うという、作曲賞としてはわが国で初めてのユニークな試みとなっています。なお、この日、公開選考に先だち、第20回受賞者・山根明季子氏の受賞記念サントリー芸術財団委嘱作品「ハラキリ乙女～琵琶とオーケストラのための～」の世界初演が行われました。

▽第22回芥川作曲賞

新井健歩(あらい・けんぼ)

<贈賞理由>

自己の内面に忠実に、独自の作曲方法を追求する姿勢が高く評価された。

<略歴>

1988年ロサンゼルス生まれ。2011年桐朋学園大学作曲専攻卒業、2012年同大学研究科修了。作曲を大家百子、鈴木純明の両氏に、ピアノをローラン・テシュネ氏に、指揮を吉田行地氏に師事。今までに、12平均律によらないピッチ組織や、演奏動作と音楽の関係などを、独自の視点で探求した作品を制作し、新たな音楽のあり方を模索している。

第22回芥川作曲賞 選考経過

1. 2012年3月22日(木)午後1時より東京都港区、ANAインターコンチネンタルホテル東京において第1次選考会を開催。2011年1月1日より2011年12月31日の間に国内外で初演された日本人作曲家の管弦楽作品を対象に選考し、芥川作曲賞にふさわしい清新にして豊かな将来性を秘めた以下4作品を第22回「芥川作曲賞」の候補に選定した。選考委員は、北爪道夫、高橋裕、原田敬子の3氏。(50音順)

◆阿部俊祐 作曲 「イル」

初演：2011年12月18日 東京藝術大学奏楽堂
藝大現代音楽の夕べ

◆新井健歩 作曲 「闘ぎ合う先に ～オーケストラのための～」

初演：2011年5月17日 桐朋学園大学
桐朋学園大学平成22年度卒業生有志によるオーケストラ試演会

◆大場陽子 作曲 「誕生」

初演：2011年10月26日 紀尾井ホール
アール・レスピラン第26回定期演奏会

◆塚本瑛子 作曲 「一瞬の内に オーケストラのための」

初演：2011年9月14日 ケルン・フィルハーモニー
ケルン・フィルハーモニー創立25周年記念コンサート

(50音順)

2. 2012年8月26日（日）、午後3時よりサントリーホールにおいて上記4曲を公開演奏（指揮＝大井剛史、管弦楽＝新日本フィルハーモニー交響楽団）。

演奏終了後、ステージにおいて北爪道夫、高橋裕、原田敬子 3 選考委員による公開討議（司会＝片山杜秀氏）を行った結果、第22回「芥川作曲賞」受賞曲に新井健歩氏の作曲による「鬨ぎ合う先に ～オーケストラのための～」が選定された。

3. 公開選考終了後、直ちに同ステージにおいて贈賞式が行われ、サントリー芸術財団代表理事 堤剛より賞状、賞金（50万円）が授与された。

なお、新井健歩氏にはサントリー芸術財団より交響管弦楽曲の新作が委嘱され、完成後に同財団主催のコンサートで初演される。（委嘱料100万円）

以 上